

臨床免疫学Ⅱ

授業概要

臨床免疫学の講義・演習では、免疫学的機序により起こる種々の疾患について理解を深めるだけでなく、自己免疫疾患やアレルギー性炎症の発症機序や病態形成に至る過程を分子生物学的な観点から理解しうよう到達目標を定める。各領域における免疫疾患の病態は多彩であり、それらを網羅的に学ぶ機会として重要な科目である。

担当教員

森田栄伸（主担当） 教授・皮膚科学・アレルギー学
金子 栄 准教授・皮膚科学・アレルギー学

一般目標 general instructional objectives

1. 臨床免疫学に関する知識を、免疫化学、免疫病理、分子免疫の立場から理解する。
2. 免疫異常に起因する疾患の病態を理解し、説明することができる。
3. 免疫異常に起因する病態の解析法を理解する。

各担当者による講義内容の詳細

- ① 森田：臨床免疫学一般に関する最新情報の提供
- ② 森田：アレルギー性皮膚疾患（蕁麻疹，自己免疫性疾患）の病態と対策
- ③ 金子：アトピー性皮膚炎の病態
- ④ 森田：食物アレルギーの病態と原因物質の探索法
- ⑤ 金子：アトピー性皮膚炎の治療

行動目標 specific behavioral objectives

1. 臨床免疫学に関する解析法を理解し、臨床免疫学の学術論文が読める。
2. 免疫異常に起因する疾患についてその病態が説明できる
3. 自己免疫疾患に関する臨床研究を立案できる。
4. アレルギー性疾患の病態解析に関する臨床研究を立案できる。

成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

使用テキスト・参考文献（担当者推薦）

1. 臨床アレルギー学 アレルギー専門医・認定医研修のために 改訂第2版
宮本昭正 監修 南江堂 1998. (森田)
2. 最新皮膚科学大系第3巻 (森田)

Related International Journals recommended :

Journal of Allergy and Clinical Immunology

Journal of Immunology

Allergy

Clinical Experimental Allergy

Nature Immunology

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	臨床免疫学 概論 ー病態の理解に必要な免疫学の基本知識ー	森田栄伸
2	臨床免疫学各論 1（病態）	森田栄伸
3	臨床免疫学各論 2（解析法）	森田栄伸
4	アレルギー性蕁麻疹の病態と対策	森田栄伸
5	自己免疫性蕁麻疹の病態と対策	森田栄伸
6	アトピー性皮膚炎の病態 1	金子 栄
7	アトピー性皮膚炎の病態 2	金子 栄
8	食物アレルギーの病態	森田栄伸
9	食物アレルギーの抗原解析	森田栄伸
1 0	アトピー性皮膚炎の治療 1	金子 栄
1 1	アトピー性皮膚炎の治療 2	金子 栄
1 2	皮膚の自己免疫性疾患 1	森田栄伸
1 3	皮膚の自己免疫性疾患 2	森田栄伸